No.130

こんにちは！教育委員です




IMAKANE Music Summer School
バンドクリニックと記念コンサート開催♪

吹奏楽部に所属する近隣の中学生と高校生を対象としたバンドクリニックが８月９日（土）・10日（日）に行われました。会場は今金中学校と今金町民センターです。

この事業の企画が持ち上がったのは，昨年の11月です。今金中学校・青年会議・吹奏楽部保護者会・町教委により実行委員会（山崎周一実行委員長）を結成し準備をすすめてきました。

参加者は，今金中学校・大成中学校・北檜山中学校・檜山北高校・長万部中学校・八雲中学校の中高校生です。引率者等を含め，総勢112名の参加になりました。講師は，札幌交響楽団のメンバーをはじめとするプロ演奏家５名の皆さんにお願いしました。


講師のみなさん


クリニックの様子

日程の最後に行われたガラ（記念）・コンサートでは，クリニックの成果を今金中学校と八雲中学校の吹奏楽部が発表しました。成長した子どもたちの演奏に大きな拍手が贈られました。また，講師を務めた札幌交響楽団の皆さんのプレゼント演奏も行われ，プロの音色の素晴らしさに魅了されました。



観客を魅了したガラ・コンサート

さて，人は自然と引き寄せられる相手はいるものですがもちろん人とも限りません。ただ，その「縁」をどう繋げていくかは自分次第なのかも知れません。子どもたちは，クリニックを通じて音楽の素晴らしさと出逢い，今金の大地でひとつになりました。同じ瞬間は，二度と訪れないものです。だからこそ，子どもたちには一瞬一瞬を大切にしてほしいものです。川の流れと同じように，時が止まることや戻ることはありません。同じ時間をどう使っていくかは一人ひとりに託されています。

ご縁と貴重な出逢いを頂いた札幌交響楽団の前川和弘さん，柴田千賀子さんをはじめ、山下友輔さん，三瓶佳紀さん，沼田絵恋さん，そして，参加をいただいた各中学校・高等学校関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

特色ある複式教育を願い答申書を提出

128号で紹介した「小規模特認校制度検討委員会」の答申書が萩野雅彦委員長・吉田諭種川地区プロジェクトチーフから橘教育委員長に提出されました。今後，教育委員会で審議した後，町理事者との協議を経て，議会報告の運びとなります。


答申を前に先進地樽前小学校を視察しました

【答申の概要】（附帯意見を除き記載）

１　検討委員会の意見

小規模特認校制度は導入することが望ましい。

２　意見の理由

今金町における特色ある複式教育の推進のため，小規模特認校制度を導入することが望ましい。

小規模特認校制度の導入により，今金町で唯一の複式校である今金町立種川小学校の教育環境の中で，少人数を活かした特色ある教育活動を通して，心身の健康増進，豊かな人間性を培いたいという保護者の希望がある場合には，これを踏まえ，通学状況や生活指導面など教育的な配慮の上，市街地等に住んでいる児童が，通学区域に関わりなく小規模校を選択できるよう適切な対応を願いたい。

「第１回大人のためのお話会」開催！

読書と作文のまちワーキングチーム



終戦直前の 1945 年 (昭和 20 年)“8 月 6 日 ”, 広島に原子爆弾が投下されました。60 年近くが経った今でもこの日を原爆記念日として , 毎年広島で平和式典が開かれています。



今金町でもこの日 , 今金町民センターを会場に読書と作文のまちワーキングチーム (小川ひとみチーフ) の家庭地域推進チームが中心となり平和をテーマとした大人のためのお話会が開催され , 戦争の悲劇や平和の尊さを共に考える機会となりました。次回は , 秋頃に開催される予定です。

以下，紹介作品と読み手のみなさんです。

1「もったいないばあさんと考えよう世界のこと」
真珠まりこ著　講談社
読み手 : 織田順子 , 山崎千佳子 , 船木　恵

2「バスラの図書館員」–イラクで本当にあった話–
ジャネット・ウィンター絵・文　晶文社
読み手 : 小川ひとみ

3「おこりじぞう」
原作 : 山口勇子　絵 : 四国五郎　金の星社
読み手 : 坂本孝子

4「空はつながっている」
増田健琉（小３）作　平成 26 年 6 月 23 日沖縄慰霊の日「平和の詞」を映像で紹介

発　行 : 今金町教育委員の会
〒 049-4393　北海道瀬棚郡今金町字今金 48-1
TEL :0137-82-3488【No. 130】H26(2014).8.21
E-mail:mitsuhiro.nakajima@town.imakane.lg.jp

委員リレー寄稿「歳時記」



今月は , 平井委員長職務代理です。

『戦争の失敗と反省より得られる力』

今年も終戦記念日を迎え，争いの無い平和な世界を思い願う多くの人々の誓いの声が聞こえてきます。沖縄戦・大空襲の被害者やご遺族，広島・長崎と続く原子爆弾による犠牲者や今も後遺症が続く被爆者やご遺族の未だ癒えぬお悲しみご心労ご苦労を察するに，私たちは，決して同じ過ちは繰り返してはならないと思います。

しかしながら，今現在世界の多くの地域でテロ・内紛･内戦が起きています。多くは弱い子どもや女性たち，武器を持たない市民たちが犠牲者となり，切なく痛ましい悲劇を見ています。人類は古今東西多くの争いをしています。その多くは独裁者や指導者たちの誤った思いから始まっています。争いの理由は様々です。国や民族の威厳を守ることを掲げた争い。国土の拡大・発展・奪還をめざした争い。

怨念や差別による争い。さらには , 解放･自由･平等･民主化を求めた争いもあるでしょう。理由はいくらでもありますが，その結果は悲惨なものです。多くの被害者を出し真の平和は得られていません。私も沖縄や広島を訪れ資料館等で悲惨な様子を見てきました。特攻隊出陣の地，知覧を訪れ若き隊員の遺影や手紙を見て涙しました。帰りに特攻隊最後の証言と題した本を購入しました。その本の後記に，戦争には良い面も悪い面もあるが，どちらかだけを強調したり，教育したりするのは間違いだ。真実を正確に伝えて，どう判断するかは人自身が考えるに任せたいとありました。人間は考える葦である (パスカル)。私たちは考える力がある動物です。善悪の判断・生活の知識・解決の智慧を持っています。だからこそ , 戦争から経験した失敗や反省・過ちを謙虚に受けとめ，戦争の因である個の我欲を見つめ直し，正しい心と道と行動を考えなければなりません。考える力を培うことによって真の心の平和と安定，安穏な生活が得られ，人格の形成につながると考えています。

平井委員長職務代理は，9 月 30 日をもって任期満了となります。平成 14 年 10 月 1 日より 3 期 12 年にわたり本町はもとより檜山管内の教育推進にご尽力いただきました。心から感謝を申し上げます。

今金町教育委員会　教育長　中 島 光 弘